

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

# 「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~



平成 30 年 1 月 29 日  
福岡県うきは市



(報道各社への取材の御案内)

## ～ひなの国九州、2月11日からの「第26回筑後吉井おひなさまめぐり」を前に～ 「棚田のおひなさま」・・・豪雨災害乗り越え、今春も棚田を彩る

春の風物詩といえば、九州各地で開催される「ひなまつり」。うきは市では、吉井町の白壁通り周辺で江戸時代からのおひなさまが展示される「第26回筑後吉井おひなさまめぐり」が2月11日から4月3日まで開催されるのを前に、日本棚田百選つづら棚田で棚田をひな壇に見立て、おひなさまをあしらったパネルが今週立てられ、イベントに合わせて4月3日まで展示される。



「棚田のおひなさま」と呼ばれるこの取組は、平成7年から続く「棚田 in うきは彼岸花めぐり」などの棚田保全に取り組む地域おこし団体「うきは夢酔塾」により、おひなさまめぐりのPRとともに、ひな壇のような棚田の景観を知ってもらおうと平成19年から続けられている。

平成24年7月の九州北部豪雨で、つづら棚田の約50枚が被害に見舞われた際、パネルも流され3体しか残らなかった。



保全が危ぶまれたつづら棚田は、ボランティアなどの支援により平成26年度に復旧を終えた。

一方、パネルを失った夢酔塾も続けてきた取組を継続しようと奮起、再度製作の上、今年も人形15体と雛飾り4体を設置する。秋には彼岸花の景勝地として多くの人々が訪れるつづら棚田、冬から春先にも足を運ぶきっかけとなって、四季折々の自然の姿を見てもらえればという。

■日時 **2月3日(土) 午後1時30分**から(1時間程度) ※**小雨決行**

■場所 日本棚田百選「つづら棚田」(うきは市浮羽町新川(にいかわ))

●問い合わせ うきは夢酔塾(むすいじゅく)・関健児塾長 Tel.090-8768-5488



◀ 標高 500mほどの山間の約7畝に約300枚が広がる日本棚田百選「つづら棚田」。

お内裏様・お雛様・三人官女・五人囃子・従者の15体と雛飾り4体が設置され、冬から春の棚田を彩る。

編集・送信:うきは市総務課広報係(Tel.0943-75-4980)

※FAXを手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 [うきはブランド通信](#)

2018.1.29 発表 / 「棚田のおひなさま」・・・九州北部豪雨災害乗り越え、今春も棚田を彩る